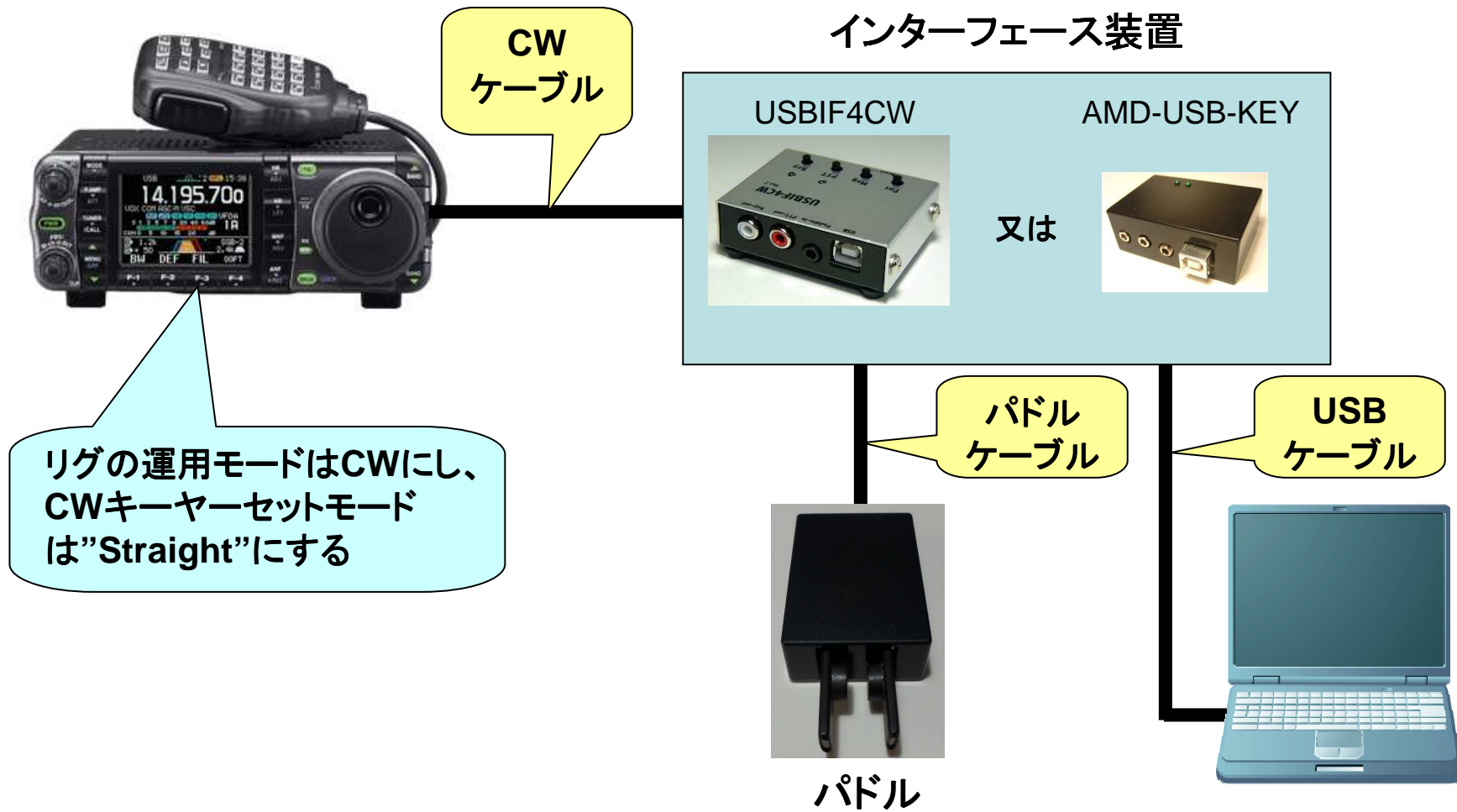


CTESTWINを使い CW運用する方法

2013年12月1日
JR10FP

パソコンとリグの接続方法



CTESTWINの基本設定方法

The screenshot shows the CTESTWIN 3.78 software window. The title bar reads "ctestw.lg8 - CTESTWIN 3.78" and "23WPM". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "表示(V)", "フォント(T)", "設定(S)", "CW(W)", "ファイル出力(O)", "その他(O)", and "ヘルプ(H)". The toolbar contains icons for "CQ", "UR", "DE", "B4", "N", "TU", "F11", "F12", "F13", "F14", "速", a hand icon, "M", and a green plus icon. A table displays the following data:

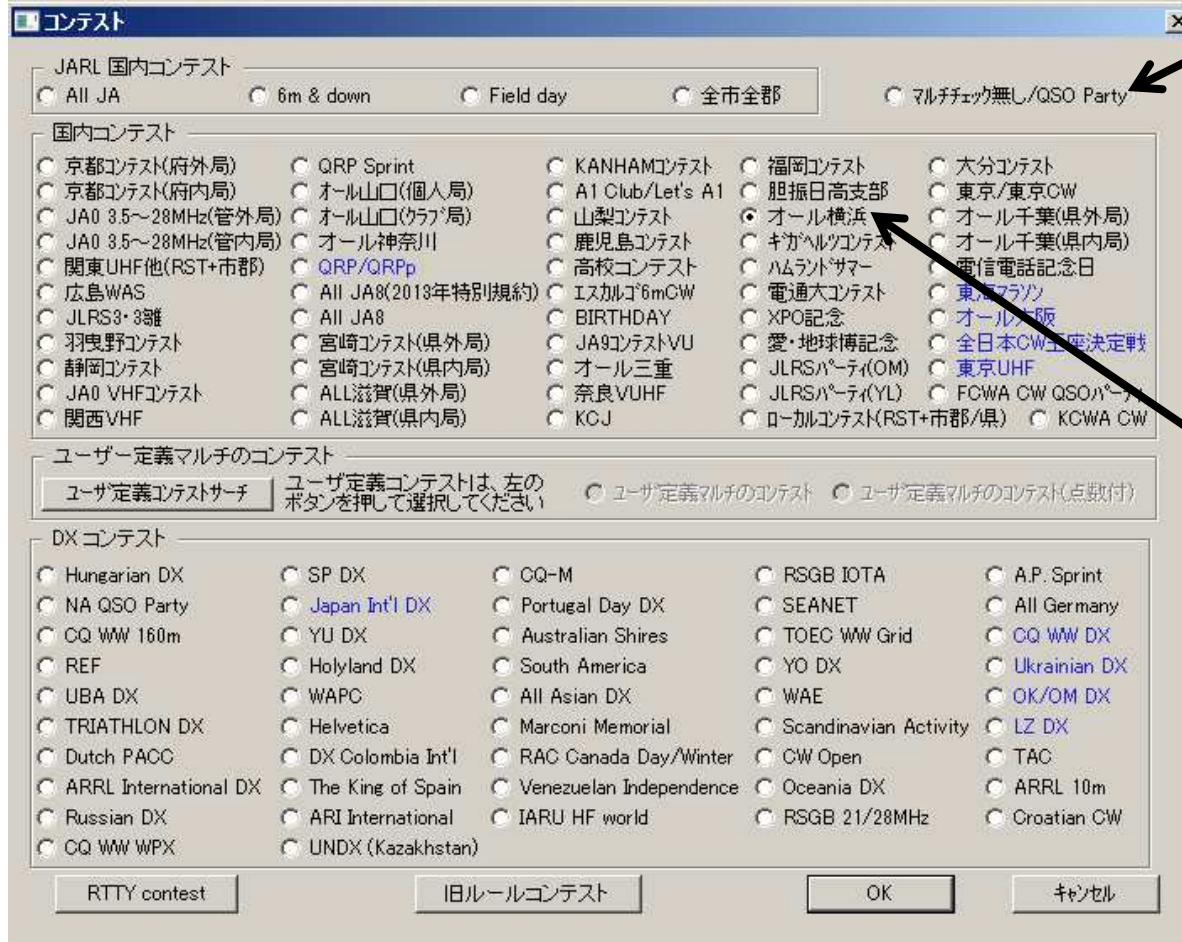
N	Date	Ti...	Call	Freq	M...	My	Ur
1	11/24	0926	JA1QEU	28MHz	CW	59918	59918
2	11/24	0926	JR1NVW	28MHz	CW	59918	59918

Four callouts point to specific settings in the interface:

- ④各種設定 (General Settings) points to the "設定(S)" menu item.
- ③CWパラメータ設定 (CW Parameter Settings) points to the "CW(W)" menu item.
- ②CWモードに設定 (Set to CW mode) points to the "CW" button in the control panel.
- ①コンテストを選ぶ (Select contest) points to the "オール横浜コンテスト" (All Yokohama Contest) dropdown menu.

The control panel at the bottom includes buttons for "チェック(Ent)", "登録(F1)", "取消(F3)", "2局", and "09:28:25 CQ". It also features input fields for "Call", "My RST" (599), and "Ur RST" (59918). The "28MHz" and "CW" buttons are highlighted in blue. Other buttons include "オール横浜コンテスト", "1MHz", "個人局", "QSL", "JAFL", "GRF", "移動", "Call?", and "Mut?". A status bar at the bottom left displays "OK! No QSO before."

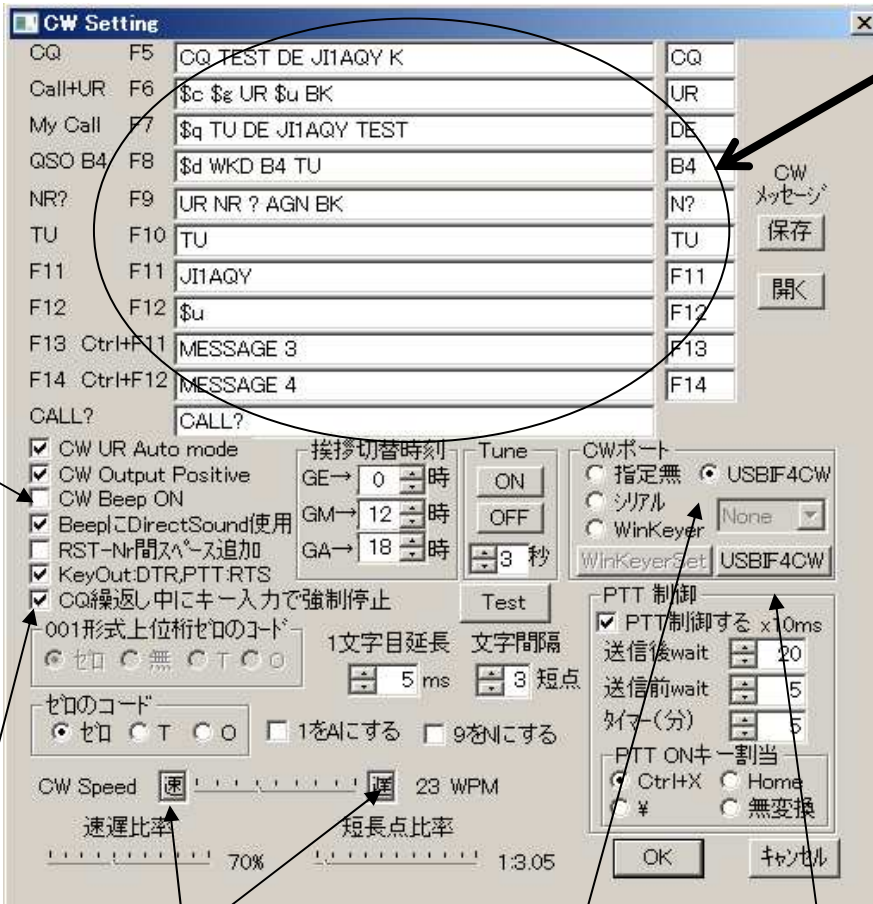
①コンテストの選択



コンテスト以外で
CTESTWINを使う時は
ここを選択する。

参加するコンテストを
選択する。

③CWパラメータの設定



下の表を参考に自分用に編集する。
(詳細はHelpを参照)

制御情報	機能
\$c	コールサイン入力欄に表示されている文字を送信します。コールの中にスペースまたはピリオドがあったら '?' に変換して送信します。なお、 '?' が複数続く場合は1つにします。
\$u	相手に送るコンテストナンバー入力欄に表示されている文字を送信します。この場合、RSTが599であれば5NNと送信します。CWの設定画面で、「RST-Nr間スペース追加」を選択していると、RSTとコンテストナンバーの間にスペースを入れます。
\$v	\$uと同じですが、「5NN」のみ、速度を速く送信します。比率は遅延比率設定の逆数です。CWの設定画面で、「RST-Nr間スペース追加」を選択していると、RSTとコンテストナンバーの間にスペースを入れます。
\$d	デュープチェックの結果QSO済みと判断されてコールサイン入力欄から自動的に消されてしまったコールサインを送信します。
\$g	現在時間により挨拶を送信します。挨拶の切替時刻は変更可能です。デフォルトは0時から12時まではGM、12時から18時まではGA、18時以降はGEです。
\$q	F4キーまたはCQボタンにより、以前にコールサインを送信したときにdotが含まれていたときのみ、コールサイン入力欄に表示されている文字を送信します。以前に送ったときにdotがなければ何も送信しません。コールの中にスペースまたはピリオドがあったら '?' に変換して送信します。なお、 '?' が複数続く場合は1つにします。
\$j	AR,BTなどの連続符号を作成します。\$jの次の2文字が連続して送信されます。例えば、ARを連続符号にする場合は\$jARとなります。1メッセージに対して連続符号は1文字しか入れることができません。但し、WinKeyerの場合は何文字でも入れられます。
.	この文字で囲われている文字は速度を速く送信します。比率は遅延比率設定の逆数です。\$vを囲むと正常動作しません。(はトグル動作をするためです)

チェック外す

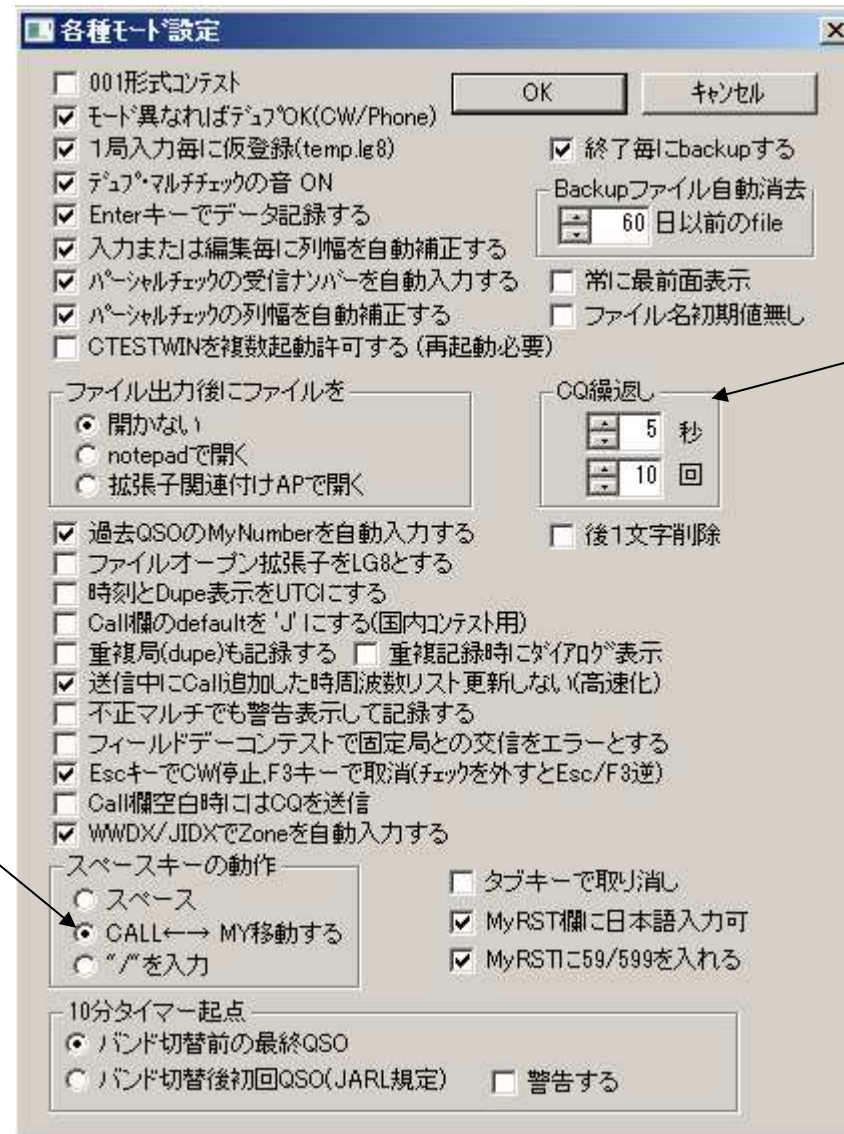
CWスピードを調整する。

USBIF4CWを選択

AMD-USB-KEYを使う場合はここをクリックし、設定変更する。

チェックを入れる。

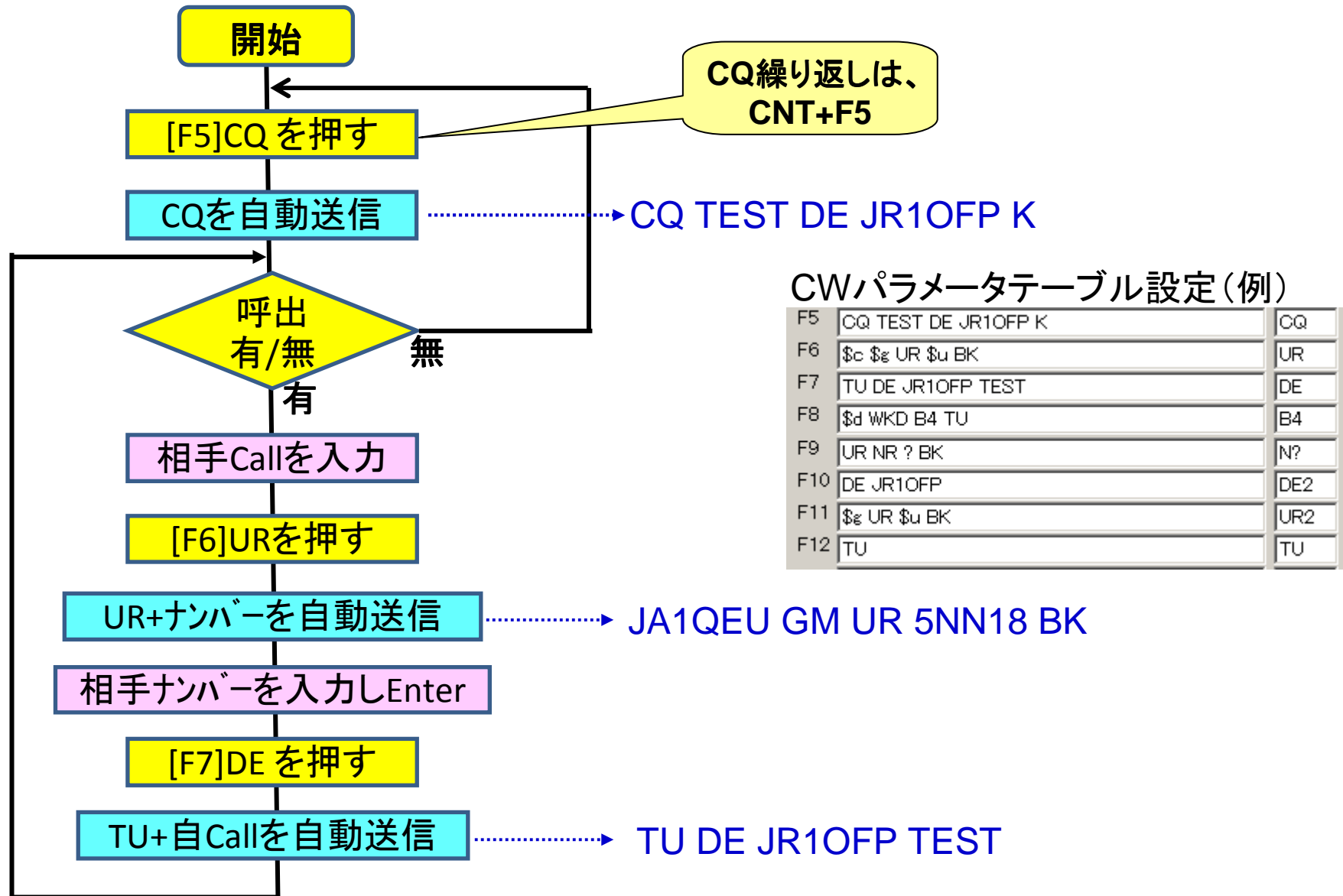
④各種設定



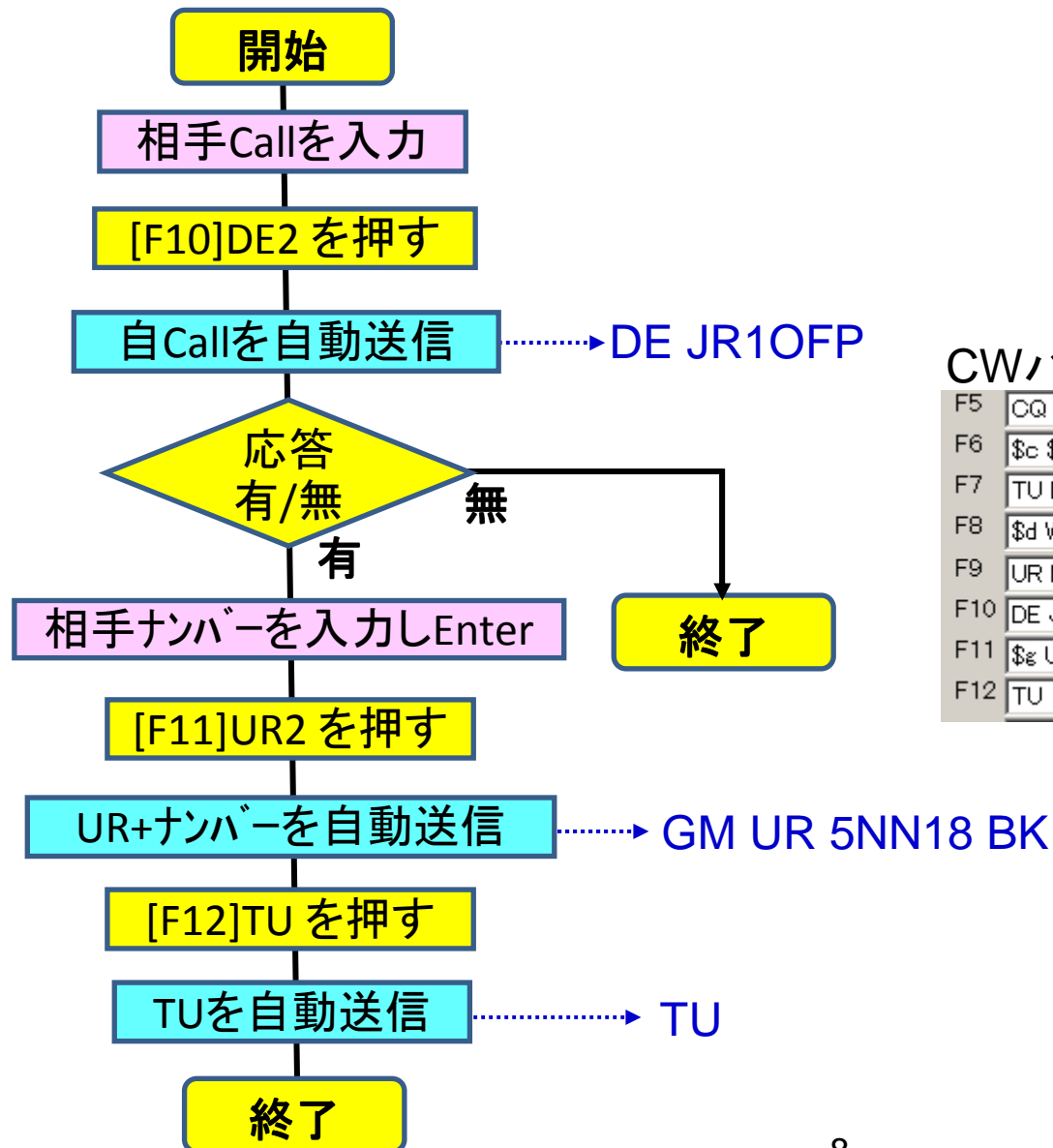
CQの送信間隔と
繰返し回数が
設定できる。

スペースキーを
押すとCall入力欄
に移動するので
便利です。

CW運用方法(例1:CQ送信)



CW運用方法(例2:CQに应答)



CWパラメータテーブル設定(例)

F5	CQ TEST DE JR10FP K	CQ
F6	\$c \$g UR \$u BK	UR
F7	TU DE JR10FP TEST	DE
F8	\$d WKD B4 TU	B4
F9	UR NR ? BK	N?
F10	DE JR10FP	DE2
F11	\$g UR \$u BK	UR2
F12	TU	TU

パドルを使いCW手動送信する方法

1. 最新版のUSBIF4CW(Ver.2以降)を使う場合

CTESTWINのみで使える。(未確認なので詳細不明)

2. USBIF4CW(Ver.1)又はAMD-USB-KEYを使う場合

- ① 裏でZlogのプログラムを動かしておき、パドルが使える状態にしておく。
- ② CWスピード等の設定はZLOG側で行う。

(注意:CTESTWINで自動CW送信中にパドル操作しても自動送信は止められない。→ESCキーで止める。)